

令和4年度 保護者学校評価アンケート 全体集約結果

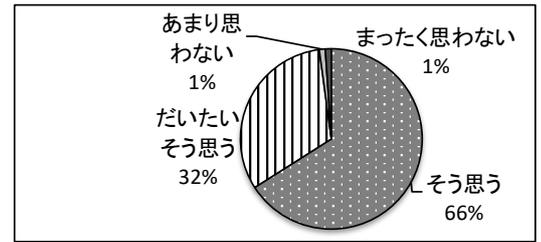
R04.12実施

△:昨年度よりアップ ▼:昨年度よりダウン ()は昨年度

回答数 94/99 95 %

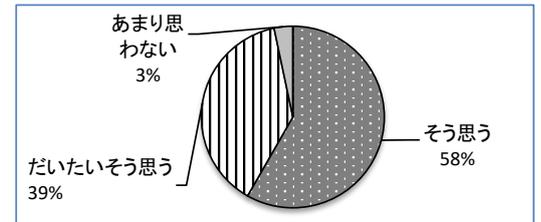
1 子どもたちが毎日通いたくなる、楽しく学べる学校になっている。 (人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
62	30	1	1
98% (98)		2% (2)	



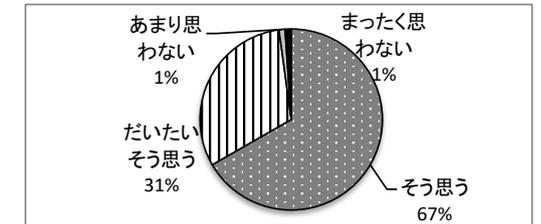
2 新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策を適切に行い、子どもが安全安心で快適な学校生活を送ることのできる教育環境となっている。 (人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
53	35	3	0
97% (98) ▼		3% (2)	



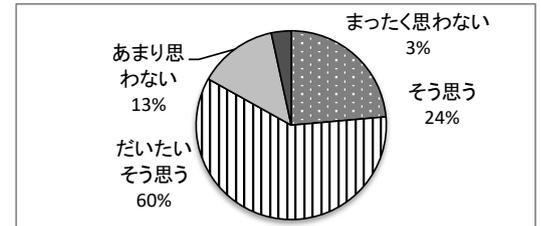
3 子どもの実態や個性に合わせた工夫のある学習が行われ、成長が見られる。 (人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
62	29	1	1
98% (97) △		2% (3)	



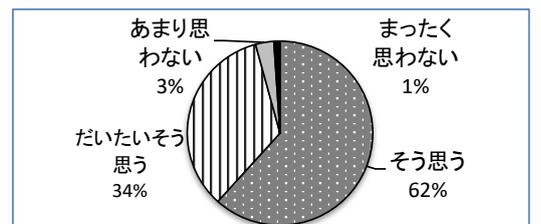
4 学校周辺の地域の方や施設、居住地の園や学校などとの交流活動は十分に行われている。 (人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
21	53	12	3
84% (86) ▼		16% (14)	



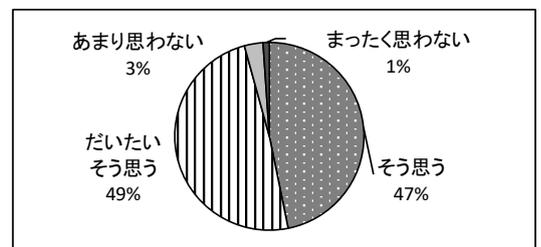
5 保護者の連絡や相談に対して、教職員が適切に対応している。 (人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
58	32	3	1
96% (98) ▼		4% (2)	



6 おたより、ホームページ、学校公開などを通して、保護者や地域の方に対して、教育方針や様々な活動の様子について伝えている。 (人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
44	46	3	1
96% (100) ▼		4% (0)	



新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら授業や行事等を行いました。6つの評価項目のうち5項目について「思う」または「だいたい思う」の評価を合わせた割合が90%台の評価をいただきました。

◇【4：交流及び共同学習】では「コロナなので仕方がない」「収まれば進めてほしい」という記載がありました。知的小学部4、5年生での西荒瀬小交流や知的高等部の西荒瀬地区文化祭へのバザー製品提供など、新たに始めた交流もあります。居住地校との交流のみではなく、地域とのつながりの学習も広がっています。学部、学校からお便りやHP等での情報発信の機会を一層進めていきます。

◇【3：子どもにあった指導・支援】【1：楽しく学べる学校】については「思う」の評価が増えました。周囲とのかかわりの中でできた、わかった、またやりたいと思えることを大切に授業づくりを継続していきます。お子さんの成長を実感できている部分もありながら、コロナ禍という状況から学校における子どもたちの学びの姿を見る機会が不足しているという意見がありました。【2】の教育環境ともかかわって、学習場面や参観機会の工夫を行います。

◇【5：相談への対応】については送迎時の情報共有や連絡帳でのやり取りなどを通し、担任との関係づくりをていねいに行っていると感じています。一方、相談の主旨に沿った対応についての要望があることから、研修等を通して職員の障がいにかかわる専門性や指導支援スキルの向上を図りたいと考えています。